

令和6年度（令和5年度事業）

美深町まち・ひと・しごと創生総合戦略

評 価 報 告 書

令和6年度まち・ひと・しごと創生総合戦略評価（令和5年度事業）
について、次のとおり報告する。

令和6年8月28日

美深町まち・ひと・しごと創生推進会議 会長 齊 藤 宏 行

1 評価の対象

まち・ひと・しごと創生総合戦略に搭載された具体的な施策のうち41の主な事業について評価した。

2 評価の方法

まち・ひと・しごと創生総合戦略における基本目標1～4に分類される41の主な事務事業について、評価調書及び補足説明によって、3部会において担当する施策を4段階で評価した。

美深町まち・ひと・しごと創生推進会議 会長 齊藤 宏 行、副会長 佐 竹 仁 (◎は部会長 ○は副部会長)	
福祉教育部会	◎佐竹 仁 ○花井あゆみ 宇野 育子 赤川 拳士 工藤 裕美 成田 咲映 大堀 裕康 小林 一仙 井川 健
産業経済部会	◎遠藤 伸浩 ○齊藤 雄太 菅野 勝義 向井 朋博 山下 朋子 山崎 義典 中林 秀文 後藤 裕幸 小野 勇二
環境行財政部会	◎村本 修二 ○関下 英明 齊藤 宏行 清水 節子 澤田 恵子 桜木 健一 竹田 哲 中江 勝規 酒井 博昭

3部会の評価施策数	
福祉教育部会	12事務事業(第3・4章)
産業経済部会	18事務事業(第2章)
環境行財政部会	11事務事業(第1・5章)
四段階評価	
A評価 期待どおりの成果が得られた	B評価 一応の成果が見られた
C評価 あまり効果が見られない	D評価 全く成果が見られない

3 評価の経過

次のとおり会議・部会を開催した。

- ・ 8月 8日 第1回まち・ひと・しごと創生推進会議
- ・ 8月 8日 第1回各部会開催
- ・ 8月20日 第2回福祉教育部会
- ・ 8月28日 第2回まち・ひと・しごと創生推進会議・各部会開催

4 評価の結果

41事業のうち、A評価が31事業[75.6%]、B評価が9事業[22.0%]、C評価が1事業[2.4%]となっており、各事業は概ね順調に実施されていると評価する。

目標達成に向けて、今後も継続した取組が必要である。事務事業ごとの評価結果は次項のとおり。

基本目標ごとに区分した評価結果の概要については、次のとおり。

令和5年度まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価一覧

項	第 1 章		推進会議 評 価	担当 グループ	担当による事業の検証					事業 評価	今後の 方向性
	事業No.	事 務・事 業 名			進捗 状況	指標達成 状況	費用対 効果	実施 方法	次年度 課題		
1	1-2-1	113 地域公共交通運行事業	A	生活環境	A	B	C	A	B	A	現状維持
2	1-3-2	121 公営住宅長寿命化事業	B	水道住宅	B	B	B	B	B	B	現状維持
項	第 2 章		まちひとしごと 創生推進会議	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性
	事業No.	事 務・事 業 名			進捗 状況	指標達成 状況	費用対効果	実施 方法	次年度 課題		
3	2-1-1	201 新規就農者等補助事業	A	農業	A	A	A	A	B	A	現状維持
4	2-1-1	203 地域担い手育成事業	A	農業	A	B	A	A	B	A	現状維持
5	2-1-1	205 農業後継者育成事業	B	農委	A	A	B	B	B	B	現状維持
6	2-1-3	211 農業雇用確保対策事業	A	農業	A	B	A	A	B	A	現状維持
7	2-1-4	220 がんばる美深農業支援事業	A	農業	A	A	A	A	B	A	現状維持
8	2-1-4	221 農畜産物等販路拡大PR事業	B	農業	B	A	B	A	B	B	現状維持
9	2-2-1	225 町有林造林保育事業	A	建設林務	A	A	B	A	B	A	現状維持
10	2-2-1	226 民有林造林保育事業	A	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持
11	2-2-2	229 林業経営強化事業	A	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持
12	2-2-2	230 森林認証推進事業	A	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持
13	2-3-1	232 商工業活動支援事業	A	経済産業	B	A	A	A	B	A	現状維持
14	2-3-2	235 快適な住まいづくりと商工業振興事業	A	経済産業	A	A	A	A	A	A	現状維持
15	2-3-3	237 商工業担い手支援事業	A	経済産業	A	A	A	A	B	A	規模拡大
16	2-4-1	238 観光推進体制支援事業	A	経済産業	A	A	A	A	B	A	現状維持
17	2-4-2	239 観光PRとイベント支援事業	A	経済産業	A	A	A	A	B	A	現状維持
18	2-4-2	240 魅力ある観光地づくり推進事業	A	経済産業	A	A	A	A	B	A	現状維持
19	2-5-1 -2	242 チョウザメ振興事業	B	経済産業	B	C	B	B	B	B	現状維持
20	2-6-1	243 就労活動支援事業	B	経済産業	B	C	B	A	B	B	現状維持
項	第 3 章		まちひとしごと 創生推進会議	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性
	事業No.	事 務・事 業 名			進捗 状況	指標達成 状況	費用対効果	実施 方法	次年度 課題		
21	3-2-1	303 山村留学推進事業	A	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持
22	3-2-1	304 青少年教育交流事業	B	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持
23	3-2-6	314 高等学校教育推進事業	A	教育	A	B	B	A	B	A	現状維持
24	3-3-4	319 青少年健全育成事業	A	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持
25	3-5-1	322 冬季スポーツ事業の推進	C	教育	C	B	B	C	C	C	見直し
26	3-5-1	323 スポーツ振興事業	A	教育	B	A	A	A	B	B	現状維持
27	3-5-1	325 こどもスポーツ未来基金事業	A	教育	A	A	A	A	B	A	現状維持
項	第 4 章		まちひとしごと 創生推進会議	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性
	事業No.	事 務・事 業 名			進捗 状況	指標達成 状況	費用対効果	実施 方法	次年度 課題		
28	4-1-2	402 各種健診・予防保健事業	A	保健福祉	B	B	A	B	B	B	現状維持
29	4-1-3	403 地域医療・福祉体制整備事業	A	保健福祉	A	A	A	A	B	A	現状維持
30	4-2-1	405 母子保健対策事業	A	保健福祉	A	A	A	A	B	A	規模拡大
31	4-2-2	406 子どもを産み育てるための経済支援	A	保健福祉	A	A	A	A	B	A	見直し
32	4-3-2	416 高齢者等生活支援事業	A	保健福祉	A	A	B	A	B	B	現状維持
項	第 5 章		まちひとしごと 創生推進会議	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性
	事業No.	事 務・事 業 名			進捗 状況	指標達成 状況	費用対効果	実施 方法	次年度 課題		
33	5-1-1	501 地域人材育成事業	A	企画	A	A	B	B	B	B	現状維持
34	5-1-1	502 新しいまちづくりサービスの推進	A	企画	A	A	A	A	B	A	現状維持
35	5-1-2	503 自治会活動推進事業	B	企画	A	B	A	A	B	B	現状維持
36	5-1-2	504 地域活動活性化促進事業	A	企画	A	A	A	B	B	A	現状維持
37	5-2-1	506 移住定住推進対策事業	B	経済産業	A	B	B	B	B	B	現状維持
38	5-2-1	507 地域支援対策事業	A	経済産業	A	B	A	A	A	A	現状維持
39	5-2-2	508 地域交流活動推進事業	A	企画	B	A	B	B	B	B	現状維持
40	5-2-4	510 ふるさと交流事業	A	企画	B	A	B	B	B	B	現状維持
41	5-2-5	511 産学官連携活性化事業	B	経済産業	B	B	A	A	B	B	現状維持

基本目標 1	国の基本目標① 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする まちの特性をいかした産業を振興し、働く場をつくる	
(1) 農業の振興		
●担い手の育成確保 担い手の育成・確保は最重要課題であり、新規就農者や後継者が安心して就農できるよう、継承希望農家の把握や受入体制づくりの強化、パートナー対策事業など、後継者の育成支援を継続していく必要がある。		
●農地の維持と経営基盤の安定強化 持続ある美深農業の実現のため、『がんばる美深農業支援事業』での農業者ニーズに即した各種支援や、農畜産物販路拡大PR事業による販路の拡大、地産地消の推進に加え、外国人も視野に入れた農業従事者の雇用対策にも取り組んでいく必要がある。		
(2) 林業の振興		
●森林の保全と経営基盤の安定強化 持続可能な森林経営のためには、造林・保育、主伐のサイクルは必要不可欠であり、計画的な施業を実施する必要がある。 「北海道立北の森づくり専門学院」による担い手の育成など、林業経営の維持、強化のため、各種事業の支援を引き続き行う必要がある。		
(3) 商工業の振興		
●経営基盤の安定強化 商工会が実施する各種イベントによりまちの賑わいにつながっているほか、プレミアム商品券の発行により消費喚起、消費拡大と商店街の活性化が図られていることから高く評価する。		
●企業誘致・創業支援の推進 企業誘致については簡単に進むものではないが、アイデアや工夫により事業が進展するよう取組を継続されたい。 担い手の確保は、商工業の持続には非常に重要であり、商工業担い手支援事業による新規開業や人材育成への支援などは高く評価できる。		
(4) 新たな産業の振興		
●チョウザメ産業の確立 大学や企業との連携など、チョウザメ飼育技術の向上に向けた取り組みが進められており、産業化に向けて前進していると評価する。		
(5) 就労対策・勤労者福祉の充実		
●雇用の安定と確保 求職者就業訓練支援事業や人材開発センターの事業は、求職者の能力開発に有効な事業であるとともに、高校生への就職説明会の実施は、地元企業の担い手を育成・確保する上で重要な就業対策であり、いずれも継続して取り組む必要がある。		
数値目標	基準値	目標値
町内企業就労者数の維持	1, 584人 【平成28年業種別従業者数】	1, 584人 (現状維持)

基本目標 2	国の基本目標② 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる 美しい自然と豊かな地域資源をいかし、新しい人の流れをつくる	
(1) 関係人口の創出 ●移住定住の促進 移住者は簡単に増えるものではないが、移住体験住宅の利用を通じて美深町での生活と魅力を感じてもらい、移住の可能性を広げていく必要がある。 地域おこし協力隊は、都市部から多様な人材を受け入れることにより、新たな目線で地域を見ることができる有効な事業である。定住につながるための取り組みも合わせて進めていく必要がある。 ●山村留学の推進 山村留学の受入れ体制や支援制度も充実しており、少人数の特性を活かした教育活動は評価できる。 ●地域間交流・ふるさと会活動の推進 新型コロナの影響が落ち着き、従来の形で交流事業が実施できた。これまで築いてきたつながりは町にとって財産であるとともに、引き続き交流活動を継続できるよう進められたい。 (2) 観光の振興 ●魅力ある観光の推進 多種多様な観光スタイルが求められる時代となっている。本町の特性を活かしながら観光 PR、情報発信に努め、美深町の良さを求めて来る観光客の獲得のために、取り組みを継続されたい。		
数値目標	基準値	目標値
観光客年間入込数の増加	43.7万人 【2020 年度】	45.0万人 (3%増加)

基本目標 3	国の基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
	結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
(1) 住宅の整備 ●良好な住環境の整備推進 快適な住まいづくりと商工業振興事業は、住環境の整備や定住の促進、建設業の振興・雇用の安定化など、地域経済の活性化が図られている事業であり高く評価できる。 ●公営住宅等の適切な維持・管理の推進 公営住宅の維持管理は、長寿命化計画に基づいて管理戸数の維持が進められている。町民の住環境の維持のためにも、引き続き適正な維持管理に努められたい。 (2) 学校教育の充実 ●高等学校教育の充実 美深高校は進学率の向上も図られており、一定程度の入学者数も確保されている。美深高等養護学校でも出生者への木工製品の配布など、地域とのかかわりが増え、地域に根ざした学校づくりが実施されていることは評価できる。 (3) 社会教育の充実 ●青少年健全育成 豊かな自然を活かしたアウトドア事業、地域住民や関係機関と連携した取り組みなどが行われており、青少年の健全育成を図ることができていることは評価できる。 (4) 子育て環境の充実 ●子育て環境の整備 母子保健事業は妊娠から出産、そして子育てと、乳幼児だけではなく母親や家族が、安心して子育てできる体制になっており、今後も切れ目のない事業を継続されたい。 ●子どもを産み育てるための経済的支援 不妊治療費助成については、利用実績もあり、事業の効果もあることから高く評価する。安心して治療が受けられるように支援を継続されたい。		
数値目標	基準値	目標値
合計特殊出生率の向上	1. 25人 【2020 年度】	1. 66人 (人口ビジョン目標値)

基本目標 4	国の基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる 安心して暮らせる魅力的な地域をつくる	
(1) 道路・交通網等の整備 ●公共交通の確保 公共交通の維持は、特に少子高齢化が進む地域には必要不可欠であり、住民の足としてなくてはならないものである。多様なニーズを把握しながら、今後も必要な公共交通サービスを維持していくことが求められる。 (2) 健康づくり・医療の充実 ●病気の予防と早期発見の推進 各種健診・がん検診は、町民の健康維持、疾病予防には欠かせない事業である。受診率も向上しており、町民の健康意識の向上のため継続した取組が必要である。 ●地域医療の確保 安定的な医療サービスが提供されるよう、医師・看護師等の人材確保に向けた取り組みを進められたい。 (3) 高齢者支援の充実 ●地域包括ケアシステムの充実 高齢者の在宅生活を維持する上で、外出支援や除雪サービスは重要なサービスであるが、人材不足となる懸念があるため、人材確保に向けた取り組みを進められたい。 (4) スポーツ活動の推進 ●スポーツによるまちづくりの推進 高齢化、人口減少が進んでいるものの、多くの町民が参加するスポーツイベントもある。引き続きスポーツによるまちづくりを推進していただきたい。 冬季スポーツについては、エアリアルのみならず冬季スポーツ全体を視野に入れ、継続していくための検討が必要である。 こどもスポーツ未来基金事業については、スポーツに加え文化活動にも支援を拡大しており、子どもたちの活動を広く支援できていることは高く評価する。 (5) 住民参画のまちづくりの推進 ●住民参画の促進 人材育成研修支援事業は2件実施され、まちづくりに有効な事業であったと思われる。特に人材育成の観点はまちづくりに重要な事業であり、今後も継続して実施されたい。 買い物支援サービスは、高齢者の生活に必要なサービスとして定着してきていると評価できる。 ●コミュニティ活動の推進 自治会による自主的な活動は地域づくりに欠かせないものである。しかし、高齢化や人口減少による会員減少、役員の担い手の減少、地域のつながりの希薄化も見受けられる。引き続き地域の声を聞きながら必要な支援に繋げていただきたい。 美深町活性化促進事業は、まちの活性化につながるものである。今後も制度のPRをはじめ、住民の積極的な活動を支援できるよう事業を推進されたい。		
数値目標	基準値	目標値
地域計画策定自治会数	14自治会 【2020年度】	17自治会 (全自治会)

未来へ続く
笑顔あふれるまち

